

## 平成28年度 事業報告書

岡山要約筆記クラブの活動は、基本理念として三つの願い（①要約筆記を知ってほしい ②要約筆記を利用してほしい ③要約筆記活動に参加してほしい）を掲げている。

この理念のもと聴覚障害者の自立と社会参加を図るために聴覚障害者のコミュニケーション支援をさまざまな分野で行っている。活動に際して、難聴者団体と協働、関係団体や行政機関との連携を大切にしながら推進してきた。活動内容は以下の通り。（表-1）

- 1、難聴者が参加するさまざまな行事に支援者として関わる中で、相互理解を深めていった。
  - ・難聴者と要約筆記者との交流会（お花見など）
  - ・心のふれあい旅行（県外へのバス旅行）
  - ・耳の日の集い（岡山県難聴者協会、岡山県聴覚障害者福祉協会、岡山県医師会主催で毎年開催される集い）
- 2、要約筆記を社会の人々に知ってもらうための啓発活動
  - ・人権フェスティバル岡山に参加  
会場に要約筆記展示ブースを設け『要約筆記の活動パネルの展示』や『要約筆記チョット体験』を子どもとその保護者に体験してもらった。来訪者には啓発用チラシを配布した。
  - ・岡山市社会福祉協議会 PR パネル展、岡山ふれあいセンターパネル展に参加
- 3、関係団体や行政機関との連携
  - ・岡山県障害者スポーツ大会に専門ボランティアとして参加
  - ・岡山市ボランティアグループ連絡協議会の研修会等に積極的に参加
- 4、会員の研修  
専門的技術を備えた対人支援者として、その資質の向上は必須である。そのため月2回の定例勉強会を実施。手書き要約筆記とパソコン要約筆記、手書き要約筆記夜勉強会に分かれて行っている。（表-2）他に県主催の研修会（P6～7）に参加。現任研修であるので積極的参加を勧めている。

表-1 平成 28 年度 活動報告

( )内は人数

月	岡山県・市ボランティアグループ連絡協議会	クラブ活動
4		難聴者と要約筆記者 お花見交流会へ参加(9) 第 14 回操山フェスタ実行委員会出席(1) クラブ講座代表者会出席(1) 第 26 回岡山要約筆記クラブ定期総会 赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業交付式出席(2) 第 16 回岡山県障害者スポーツ大会 フライングディスク競技への協力(2)
5	運営委員会出席(1) 定期総会出席(1)	第 16 回岡山県障害者スポーツ大会 卓球競技への協力(2) 第 16 回岡山県障害者スポーツ大会 開会式 陸上競技への協力(4)
6		第 34 回全国要約筆記問題研究会 in 大阪へ参加(1)
7	運営委員会出席(1)	
8	岡山市社会福祉協議会パネル展 のびのび子ども広場への協力(4)	岡山市納涼花火大会受付支援(1)
9	運営委員会出席(1) ボランティア交流会ワールド・カフェへ参加(2)	岡山県聴覚障害者関係地域ボランティア研修会へ 参加(29) 心のふれあい旅行への協力(8)
10	赤い羽根共同募金街頭活動への協力(3)	第 31 回岡山地区矯正展への協力 搬入準備(2) 当日(9) 第 41 回岡山市障害者体育祭への協力(7) クラブ講座代表者会出席(1) 第 14 回操山フェスタへの参加 準備(2) 受付(3) 片付け(2) おかやまふれあいまつりパネル展示
11	岡山県聴覚障害者センター 10 周年記念行事 へ参加(22) 運営委員会出席(1) 岡山市ボランティア連絡協議会研修会出席(4)	第 14 回操山フェスタ反省会出席(1)
12		岡山市主催 第 21 回人権フェスティバル岡山へ参加 準備(2) 当日(13) 難聴者・要約筆記者 合同忘年会へ参加(7)
1	運営委員会出席(1)	岡山要約筆記クラブ新年会(26)
2	災害救援専門ボランティア研修会へ 参加(15)	県医師会・県聴覚障害者福祉協会・県難聴者協会主催 第 18 回 耳の日の集いへの協力(15)
3	運営委員会出席(1)	岡山県聴覚障害者関係地域ボランティア研修会へ 参加(28)

表-2

平成28年度 定例勉強会 学習内容 (中央公民館/10:00~12:00)

月日	テーマ	内容	人数
5/6	基礎力アップ	文章を段落ごとにまとめて要約文を作る	13
5/20	基礎力アップ(表記の見直し①)	表記に留意しながら読み上げ文をロールに書く。その後自己検証とグループで検証し講評	14
6/3	基礎力アップ(表記の見直し②)	ペンの持ち方、姿勢等基本に戻ってテープ文をロールに書く。2人組で検証、その後講評	13
6/17	要約筆記者派遣制度について	岡山県・市派遣についての概要と派遣事業を学ぶ	15
7/1	全要研 in 大阪集会参加報告	分科会「全要研の取り組む文字サポ事業」の報告と「文字サポ検定」体験	15
7/15	要約技術(省略①)	省けるパターンの例文プリントとグループ討議	15
8/5	要約技術(省略②)	「短く表現する」プリントを各自で。その後グループ討議	14
9/2	要約技術(基礎構文力を高める)	基礎構文力を高めるためのプリントと4コマ漫画を見て要約文を作る	8
9/16	要約技術(要約)	短文を聞き、要約技術を駆使しまとまった文章を作る。読み上げ文をロールに書き検証する	11
10/7	半期の振り返り	活動を通して気づいたこと、フリートーク	16
10/21	要約技術(ノートテイク①)	ノートテイクと全体投影の違いの再認識。テープを聞き理解ができるノートテイク文にする	15
11/4	贈呈式	北ライオンズクラブ様よりノートテイク用紙の寄贈	16
11/18	ノートテイク②	会議でのノートテイク。懇談会での録音テープを聞き、同時性が保てるノートテイクをする。	10
12/2	ノートテイク③	就職面談会でのノートテイクを想定し利用者が即時返答できるようなノートテイクを目指す。	15
12/16	ノートテイク④	講演会テープを聞き、ノートテイクをする	12
1/20	要約技術(共有情報の活用)	テープを聞き共有情報を生かした要約文にする。ロールに書いて貼り出し検証	15
2/3	派遣報告書記載方法 ノートテイクの向上	派遣報告書(事業体で異なる)の記載方法を学ぶ ノートテイクの総復習	15
2/17	模擬講義情報保障	模擬「難聴者の手話教室」。OHCを使用した情報保障	14
3/3	要約技術(短く表現する)	グループに分かれ短く表現する例題の答えを見つける。テープを聞き要約技術を生かしたノートテイクをする。	13
3/17	機器を正確に設置する	3グループに分かれ準備セッティング片付けまで。全員正確に設置立ち上げができることを目指す	18
4/7	1年間の振り返り	部活動中心に反省と次年度に向けて取り組みを考える。	13

\* 全回 朝日新聞 天声人語の書き写し

表-2

## 平成28年度 パソコン要約筆記定例勉強会 学習内容

(聴覚障害者センター／9：30～12：00)

月日	テーマ	内容	参加人数
4/28	前回の復習 連携入力 総会について	入力と上手くいかなかったところの振り返り ペアを変えて連携入力の練習と振り返り 会長より総会での話を聞く	8
5/26	連携入力 話中の表記方法 について	連携での入力練習と検証 講演中にでてきた地名や方言を知らなかった場合や マグニチュード等	7
6/23	連携入力	読み上げによる2人入力、DVDによる連携入力 それぞれ検証	9
7/28	1人入力 連携入力	文章を読み上げて、1人入力と連携入力 口語調でのもの、案内文を使いそれぞれ入力、講評 現場での対応などの知恵等	7
8/25	派遣の現状 直近の派遣向け 実習	最近の派遣の流れについて説明 派遣リーダーがすべきこと、事前準備、現場の下見で 注意すること等セッティングの確認等	7
9/29	連携入力 英単語の表記	トークショーを題材にして連携入力 連絡窓使用 ドウ dwu 等	5
10/28	言葉のダイエット	「そぎ落とし」「置き換え」を強く意識して、 文章を作り、打ち込む練習	8
11/17	漢字の書き取り 連携入力	対談を扱った文章を読み上げ、ペアで入力 それぞれの気づきや反省点を話し合う 別ペアで入力と検証	7
12/15	派遣直前特訓	文末処理方法、言葉の置き換え、言い回しで 気をつけること等を再確認	6
1/19	1人入力と連携 入力	耳で聞く四文字熟語の入力 講演会の開会と閉会の挨拶文をつかい、1人入力と 連携入力 入力の仕方のチェック、表出文での講評	5
2/20	同音異義語 連携入力	同音異義語に注意して入力 講演を聞きながら、連携入力	4
3/23	今年度の反省	会長を交えての反省会	7

表-2 平成28年度 手書き夜勉強会学習内容

( 福祉文化会館/18:30~21:00)

到達目標：一人で支援できる対応力・要約技術を身につける

確実な情報保障ができる力をつける。

月 日	内 容	人数
4/16 (土)	自己紹介・自身の今年度到達目標を決める	7
5/14 (土)	ノートテイク基礎編 (5分程度のテープを要約し、検証する)	10
6/11 (土)	ノートテイク応用編 (基礎を踏まえ講演会の要約文を完成する)	7
7/9 (土)	ロール書き基礎編 (文字の大きさ、行数などの表記に気をつける)	6
9/10 (土)	ロール書き応用編 (削除、省略技術を使い短文でまとめる)	6
10/8 (土)	聞きつかむ力を鍛える (話される内容の意味を捉えた要約文)	6
11/12 (土)	置き換え力を鍛える (語彙力 )	7
12/10 (土)	共有情報を活用したよりよい情報保障のやり方 1	7
1/14 (土)	共有情報を活用したよりよい情報保障のやり方 2	7

\* 2月・3月は休み

## 平成 28 年度 研修会等への参加状況

### [ 研修会 ]

#### ① 岡山県災害救援専門ボランティア研修会

(主催: 県聴覚障害者センター / 共催: 県聴覚障害者災害対策本部)

第1回 平成 28 年 10 月 9 日(日) 於: きらめきプラザ

・講演「熊本地震での支援活動」

香川県聴覚障害者福祉センター 施設長 太田裕之 氏

・制度説明「災害救援専門ボランティアの仕組みや活動について」

岡山県県民生活部県民生活交通課 主任 須山元 氏

・報告「熊本地震における被災者支援に関わって」

岡山県聴覚障害者センター 谷本雅子 氏

第2回 平成 29 年 2 月 5 日(日) 於: きらめきプラザ

・講演・ワークショップ「避難所運営ゲーム HUG」を体験しよう

静岡県ふじのくに防災士会 事務局長 海野雅夫 氏

#### ② 聴覚障害者関係地域ボランティア研修会 (要約筆記)

(主催: 県聴覚障害者センター / 協力: 県要約筆記団体連絡会)

第1回 平成 28 年 9 月 17 日(土) 於: きらめきプラザ

・講演「日本語の基礎知識」

長崎短期大学 小嶋栄子 氏

・講演「要約筆記者のあり方について考える」

岡山県要約筆記団体連絡会

・グループによる事例検討

第2回 平成 29 年 3 月 11 日(土) 於:きらめきプラザ

- ・講演「岡山県における障害者差別解消法の取組」  
「岡山県『あいサポート運動』について」

岡山県保健福祉部障害福祉課 総括参事 吉田郁夫 氏

- ・講演「要約筆記技術の向上に向けて」

岡山県要約筆記者養成講師団 佐藤聡子 氏

- ・グループによる実技&検証

### ③岡山市ボランティアグループ連絡協議会研修会

(主催:岡山市ボランティアグループ連絡協議会)

平成 28 年 11 月 19 日(土) 於:ひまわり福祉会館

- ・講演「被災地(熊本県周辺)の状況について」

瀬戸内市社会福祉協議会 事務局長 出井敏雅 氏

- ・報告「災害時のボランティアセンター事業について」

岡山市社会福祉協議会 那須克文 氏

### 要約筆記者指導者養成研修

(主催:社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター／厚生労働省委託事業)

第1クール 平成 28 年 7 月 9 日～11 日 於:全国手話研修センター(京都市)

第2クール 平成 28 年 9 月 17 日～19 日於:全国手話研修センター(京都市)

第3クール 平成 28 年 11 月 4 日～6 日 於:全国手話研修センター(京都市)

要約筆記者養成カリキュラムに対応した指導者を養成する内容。

参加者は、1クール3日間を3回(延べ9日間)受講。

岡山県が 2 名の受講生(うち 1 名が当クラブから)を派遣した。

### [ 会 議 ]

#### ① 岡山市ボランティアグループ連絡協議会

定期総会および運営委員会(7 回)、ボランティア交流会

#### ② 岡山県要約筆記団体連絡会

運営委員会(2 回)

平成28年度 収支決算書

平成28年度 収支計算書

自:平成28年4月 1日

至:平成29年3月31日

(単位:円)

	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
収 入 の 部	1. 会費				
	会費収入	200,000	198,000	△2,000	会員・準会員61名、賛助会費
	奉仕活動費	40,000	0	△40,000	奉仕活動謝金
	2. 機材貸出収入				
	機材貸出収入	60,000	82,500	22,500	半日1500円、終日3000円
	3. 受取利息	100	0	△100	中国銀行
	4. 雑収入	2,000	18,150	16,150	バザー、新年会残金
	合 計	302,100	298,650	△3,450	
支 出 の 部	1. 活動支出				
	奉仕活動費	47,000	42,600	△4,400	ボランティア保険・活動交通費
	2. 管理費				
	通信費	145,000	135,036	△9,964	郵送料、事務所電話代
	渉外費	22,000	38,994	16,994	関係団体会費他
	印刷費	12,000	10,415	△1,585	コピー機使用料他
	リース料	21,420	19,635	△1,785	コピー機リース料
	消耗品費	30,000	23,646	△6,354	事務用品
	維持管理費	3,343	1,800	△1,543	ゆうあいロッカー代
	水道光熱費	20,000	20,600	600	事務所使用料
雑費	810	441	△369	交換手数料	
	3. 予備費	527	0	△527	
	合 計	302,100	293,167	△8,933	
	当期収支差額		5,483	5,483	

繰 越 の 部	前年度繰越金	527	527	0	
	当期収支差額	△527	5,483	6,010	
	合計次期繰越金	0	6,010	6,010	

平成28年度の決算について、以上のとおり報告します。

岡山要約筆記クラブ 会計担当



## 平成 29 年度 事業計画書

### 1. 活動方針

岡山要約筆記クラブの基本理念である三つの願いを実現するために  
会員同士協力し合って活動していく。

### 2. 活動内容

- ① 難聴者団体との連携・協働を進め 共にさまざまな行事に参加し、  
相互に理解を深め合っていく。
- ② 要約筆記について知っていただくため社会への啓発活動を積極的に  
行っていく。
- ③ 行政・関係団体との連携を進めていく。

# 平成29年度 収支予算書

## 平成29年度 収支計算書（予算）

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

(単位:円)

	科 目	前年度決算	本年度予算	備 考
収 入 の 部	1. 活動収入			
	会費収入	198,000	180,000	会員・準会員(3000円×55人)、賛助会員会費
	2. 機材貸出収入			
	機材運用収入	82,500	80,000	半日1500円・終日3000円
	3. 雑収入	18,150	40,000	寄付、バザー等
	合 計	298,650	300,000	
支 出 の 部	1. 活動支出			
	奉仕活動費	42,600	46,600	ボランティア保険等
	2. 管理費			
	通信費	135,036	137,000	郵送料・事務所電話代
	渉外費	38,994	40,000	関係団体会費等
	印刷費	10,415	10,000	コピー機使用料、印刷代
	リース料	19,635	11,000	コピー機リース料
	消耗品費	23,646	25,000	事務用品
	維持管理費	1,800	3,343	サーバー料・ゆうあいロッカー代
	水道光熱費	20,600	20,000	事務所使用料
雑費	441	1,047	はがき交換手数料等	
	3. 予備費	0	6,010	前期繰越金
	合 計	293,167	300,000	